

# あかけら

No.353



2018. 4

岩手県勤労者山岳連盟



盛岡山友会



# あかげら

# 4月号

も く じ

- 
- 01 縦走路「総会を終えて思うこと」 中村美栄子  
02 今後の日程（事務局）
- 
- 03 今後の山行計画
- 
- 07 運営委員会報告  
09 事務局から  
10 第32回定期総会報告  
12 専門部報告  
●山行管理委員会 ●教育遭対部  
16 志向別グループからのお知らせ  
◆岩手の名山歩こうかい ◆四季の山 ◆グループ銀世界  
17 行ってきました！
- 
- ▲山行報告  
18 憧れの岩手山へ 久保加世子  
20 秋田県境を歩く（県境区間1.8km） 小田 嘉洋  
22 盛岡市最高峰の毛無森に登る 村田 真司
- 
- 24 2018年3月21日（水）雪洞訓練に参加して 岡 義博  
25 ある日ある時 “<自然にまかせよ、でいいのか？>” 淡 望天  
28 交流の広場



## 総会を終えて思うこと

No.19 中村美栄子

第32回総会も無事終了し、新しい33年目が始まりました。

この度は、永年会のために尽くされた会員を含め、年度末に10人の会員が退会されました。その一方で新しい会員を迎えることもでき、しばらくぶりで自分のパソコンにある会員情報を覗いてみました。会員番号1番から485番までつらつら眺めて感慨にふけりました。一桁代の人、二桁代の人、あの人、この人、一緒に海外まで行った人……。ちなみに現在一桁代は5人、二桁代は11番から100番まで10人がいます。33年前に30歳代の青年たち14人が創立した盛岡山友会も、今は壮年期を迎えているのではないかと思います。よちよち歩きから波乱の多い青年期を過ごし、今や成熟の壮年期か。会運営も毎年全員参加をうたっていますが、なかなか参加を得られていないのが現状ではないかと思われます。山に行きたくて入会したのに、何の会運営と思われるかもしれませんが、行きたい山に、楽しい山行をするためにも活動に参加することは素晴らしいことです。会員一人ひとりが主人公(会長の弁)。運営委員は会の中核にいていろいろな情報を得、考えさせられ、自分にとっても良い刺激となり、指針を与えられます。決して損をすることはありません。山だけではなく、すべてにおいて現状に満足することなく、ちょっと一步を踏み出すことによって、また違った世界が広がります。自分の可能性を広げることができます。

山友会の事務局としては、毎年総会が近づくと人事に頭を痛めます。積極的に役を引き受けてくれる人を求めています。また、毎月の例会にも楽しんで出席し、積極的に部会にも参加して声を出し、開かれた会、望ましい会を作ることに力を出してほしいものです。単に「あかげら」を持ち帰るだけ、山に行っていればいいというのでは寂しいです。成熟した会員、成熟した山岳会でありたいものです。

# 今後の日程 (2018/5/1～2018/6/3)

行 事		行 事	
5/1		18	
火		金	
2		19	
水	4/30～5/6 No.385 小田嘉洋	土	
3	▲北沢林道～桑原岳～大薊山 (県境) ～6日	20	▲遠別岳・安家森 (ゆうゆう)
木		日	▲駒頭山 (山行企画) ▲東根山 (四季) ↓
4		21	↑◇岩登り訓練 (教育遭対部) ↑
金		月	
5		22	
土		火	
6	▲男助山 (山行企画)	23	◎5月例会 (勤労福祉会館) 18:45～
日		水	
7		24	▲田代山 (スケッチ)
月		木	
8		25	
火	5/7～5/13 No.279 松田幸久	金	5/21～5/27 No.234 古川 孝
9	◎運営委員会 (杜陵老人福祉センター) 18:45～	26	
水		土	
10		27	◇登山教室
木		日	▲中岳、四角岳 (名山) ↓
11		28	
金		月	
12	▲鳥海山 (銀世界)	29	
土		火	
13	◇ピッケル・アイゼン訓練 (遭対部)	30	
日		水	
14		31	
月		木	5/28～6/3 No.382 三浦明夫
15		6/1	
火	5/14～5/20 No.002 渡邊健治	金	
16	▲東根山 (ウィーク)	2	
水		土	
17		3	▲青松葉山 (名山)
木		日	◇ (登山教室実技山行 (鞍掛山)) ↓

◆「やま・ともサロン」は日程を決めず、会員の希望により随時開放します。ご希望の方はお電話ください。090-4318-5128 (No.19 中村美栄子)

◆山行管理専用アドレス: morioka\_yamakan@freeml.com

# 今後の山行計画

\* 掲載の山行企画は全会員を対象としています。

【山域/ルート】 栗駒山/中央コース		企画	県連(主管:胆江労山)
実施日	4月29日(日)	地形図	
目的	県連雪山交流山行 ~残雪の栗駒山で交流しよう~		
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(積雪期):★
コメント	県連の交流山行です。 残雪の雄大な斜面を満喫しましょう。 スキーとツボ足のどちらでも参加できます。		
締切り	4月20日(金)	打ち合わせ	4月25日(木) 例会後
問合せ	千田勝則 連絡先:Tel019-635-0201/携帯 080-8213-5579		

【山域/ルート】 北沢林道 ~ 桑原岳 ~ 大薮山		企画	県境の風
実施日	5月3-6日(木~日)の3日間	地形図	真湯温泉(1/25000)
目的	秋田県との県境を歩く(県境区間 5.8km(新区間 3.8km)) 片道 11.3km 県境尾根まで 5.5km 昨年 P1112 まで(2km)進む 雨天中止		
難易度	歩行:★★★	荷物:★★	技術(積雪期):★★★
コメント	岩手県胆沢ダムから祭時の栗駒焼石ホットラインの中間付近から北沢林道を桑原岳まで登り(県境)、栗駒方面(南)桑原岳を目指しピストンをする		
締切り	4月25日(水)	打ち合わせ	4月27日(金) おでって 2F 18:30
問合せ	NO 370 本間典 連絡先 : Tel 090-6782-2853 SMS メール可		

【山域/ルート】 男助山 758.4m		企画	山行企画部
実施日	5月6日(日)	地形図	鶯宿 (1/25000)
目的	山菜取り		
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★
コメント	ケツパレランドから往復です		
締切り	4月30日(月)	打ち合わせ	5月1日(火) 18:30 おでって 2F
問合せ	千田勝則 連絡先:Tel 019-635-0201		

【山域/ルート】 鳥海山			企画	グループ銀世界
実施日	5月12日(土)	地形図	鳥海山(1/25000)	
目的	広大なゲレンデを滑る			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★★	
コメント	祓川コース、日帰りスキー			
締切り	3月31日(土)	打ち合わせ	4月5日(木) 打合せ済	
問合せ	No.323 三浦良夫 連絡先::Tel 019-663-8668 メール可			

【山域/ルート】 東根山 /周回コース			企画	ウィークデイクラブ
実施日	5月16日(水)	地形図	志和、南昌山(1/25000)	
目的	平日山行を楽しむ			
難易度	歩行:★★★	荷物:★	技術(無雪期):★★	
コメント	新しく整備された周回コースです。			
締切り	5月1日(火)	打ち合わせ	5月7日(月)おでって2F 18:30	
問合せ	工藤敬子 連絡先::Tel 019-635-3203 FAX 可			

【山域/ルート】 遠別岳・安家森			企画	ゆうゆう
実施日	5月20日(日)	地形図	安家森(1/25000)	
目的	高原散策をしながらゆっくりとのんびり歩きます。			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	360度の眺望から山々を見ましょう。			
締切り	5月12日(土)	打ち合わせ	5月14日(月) 18:00	
問合せ	連絡先::Tel 433 岡 義博 080-6542-8871			

【山域/ルート】 駒頭山 940m			企画	山行企画部
実施日	5月20日(日)	地形図	鉛 (1/25000)	
目的	山菜取り			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	鉛スキー場から往復です			
締切り	5月13日(日)	打ち合わせ	5月14日(月) 18:30 おでって2F	
問合せ	千田勝則 連絡先::Tel 019-635-0201			

【山域/ルート】東根山（周回コース）			企画	四季の山
実施日	5月20日(日)	地形図	志和・南昌山(1/25000)	
目的	新しくできた周回コースを歩こう			
難易度	歩行:★★	荷物:★★	技術(無雪期):★★	
コメント	登山口から間もなく北に折れて沢を2本渡り、三山縦走路を通り山頂にいけます。その後登山口に下ります。			
締切り	5月12日(土)	打ち合わせ	5月14日(月) おでつて2F 18:30～	
問合せ	日比野 保子 連絡先::TEL 019-662-3669(留守電) or 090-7560-3669			

【山域/ルート】 田代山 /周回コース			企画	心のスケッチ山行クラブ
実施日	5月24日(木)	地形図	荒屋 (1/25000)	
目的	心のスケッチ			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	三曲山～三方沢山～田代山～駒木立の周回コースです。			
締切り	5月17日(木)	打ち合わせ	5月21日(月)おでつて2F 18:30	
問合せ	工藤敬子 連絡先::TEL 019-635-3203 FAX 可			

【山域/ルート】 中岳 1024m 四角岳 1003			企画	岩手名山歩こう会
実施日	5月27日(日)	地形図	四角岳、田山 (1/25000)	
目的	山菜取り			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	ブナと竹やぶの山			
締切り	5月20日(日)	打ち合わせ	5月21日(月) 18:30 おでつて2F	
問合せ	千田勝則 連絡先::TEL 019-635-0201			

【山域/ルート】 青松葉山(1365.6m)			企画	岩手の名山歩こうかい
実施日	6月3日(日)	地形図	青松葉山(1/25000)	
目的	夏道(登山道)を歩く			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	残雪期限定の山でしたが、数年前に整備された登山道を歩いてみよう			
締切り	5月26日(土)	打ち合わせ	5月28日(月) おでつて2階 18:30～	
問合せ	No.370 本間 典 連絡先::TEL 090-6782-2853 SMS歓迎			

【山域/ルート】 夕張岳 1668m			企画	千田勝則
実施日	6月24日(日)~26(火)	地形図	滝ノ沢山、夕張岳 (1/25000)	
目的	固有種の写真撮影			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	花の百名山、高山植物の宝庫			
締め切り	6月3日(日)	打ち合わせ	6月18日(月) 18:30	おでつて 2F
問合せ	千田勝則	連絡先:TEL 019-635-0201		

あかげら5月号に掲載する山行計画は、書面、メールにて、山行企画部  
**No.234 古川 孝 090-8923-3120(ショートメール可) [mountfuru2@yahoo.co.jp](mailto:mountfuru2@yahoo.co.jp)**  
 までお願いします。締め切りは5月6日(日)です。  
 なお、フォーマットは会員専用 HP 左下の様式ダウンロードを御利用ください。

### 原稿のお願い

5月号の原稿締め切り

◎ 5月5日(土)

※手書き原稿の場合は、2日前までとします!

### 原・稿・の・基・準

- サイズ: B5
  - 本文枠: 幅14cm・縦22cm以内 又は 余白: 上・下・右・左 20mm
  - 本文のフォント: 10~12ポイント、明朝体、またはゴシック体
- ※編集作業中に文字化けする可能性がありますので、フォントは守って下さい

- 
- 送り先 ◎手書き原稿(郵送)  
 会員No.357 渡部 彩子  
 〒020-0632 滝沢市牧野林 1047-66  
 Tel 090-7528-1968
- ◎メール原稿  
 会員No.301 久保 加世子  
 メールアドレス [k-kubo@mba.nifty.ne.jp](mailto:k-kubo@mba.nifty.ne.jp)

# 2018年度第1回運営委員会報告

出席者確認(出席者数：17/22名) 2018.4.11(水)18:45~20:10 勤労福祉会館

渡邊 三浦(明) 中村(美) 石澤 小野寺 中村(数) 松田(幸) 小原 千田 山田(潔) 福山 戸田 小川 渡部(彩) 松田(希) 大倉 大森
---

【進行：三浦(明)、記録：中村(美)】

## 1 会長あいさつ

総会は無事終了した。無風状態ともいえる感じだったが、これも普段から会員の声を聞いて会運営をしているからとも思う。これからも運営委員だけでなく、会員が力を出し合って魅力ある会運営をしていきたい。

## 2 報告事項・確認事項

(1) 現在の組織状況(4月11日現在)

会員数 95名(男 51名/女 44名) 家族会員5名 会友6名 登山時報 46部

退会・入会された方の名前は【事務局から】に掲載

(2) 各専門部等の取組状況

①山行管理委員会…新しい山行管理ルールの説明

②教育遭難対部…別記参照

③組織部…登山教室について。来月までに講師を決めたい。

④会報部…4月号からコピーになる

(3) その他報告事項

沖縄の労山「花いかだコザ」から来県の予定(沖縄から12人、東京から4人)

7月9日~12日 岩手山や早池峰山の予定。できるだけ協力してほしい。

## 3 協議・承認事項

(1) 運営委員の役割分担…別記参照 県連理事は追加なし

(2) ミニ講座の予定…4月=山行管理について(会長) その他「山の花」、「天気について」「登山用具について」、「ホームページの見方」など上がり、交渉することに。

(3) 冊子不要者の集約について…昨年のアンケートで冊子不要とした方に、個々に事務局が尋ねる。不要とした方でも例会時には冊子を見ることはできる。プロジェクターはなし。

(4) 登山教室に「ハイキングABC」を使用することについて…全国連から20部取り寄せる(会のテキストも使用)。

(5) 運営委員会の会場について…可能な時は杜陵老人福祉センターを使用(無料)。

## 当面の予定

4月25日(水) 4月例会 5月9日(水) 第2回運営委員会 (杜陵老人福祉センター)
---

5月23日(水) 5月例会 5月27日(日) 初級登山教室 (西部公民館)
---

## 2018 年度役員等一覽

役 職		2018 年度		
		会員No.	氏 名	
役員（五役）	会長	2	渡邊健治	
	副会長	382	三浦明夫	
	山行管理委員長	2	渡邊健治（兼）	
	遭難救助隊長	382	三浦明夫（兼）	
	事務局長	19	中村美栄子	
運 営 委 員	事務局	次長	140	石澤妙子
		次長	363	小野寺健一
		次長	385	小田嘉洋
		次長	252	高橋恵美子
	教育遭対部	部長	267	中村数博
		副部長	279	松田幸久
		副部長	454	小原 耕
	山行企画部	部長	6	千田勝則
		副部長	234	古川孝
		副部長	305	山田潔
	組織部	部長	416	福山茂和
		副部長	362	戸田新
		副部長	423	小川優子
	会報部	部長	357	渡部彩子
		副部長	294	松田 希
	自然保護部	部長	444	大森信慈
		副部長	433	岡 義博
		副部長	455	大倉 博
	山行管理委員会	委員	234	古川孝（兼）
		委員	267	中村数博（兼）
		委員	279	松田幸久（兼）
		委員	385	小田嘉洋（兼）
		委員	416	福山茂和（兼）
		委員	433	岡 義博（兼）
		委員	455	大倉 博（兼）
	会 計 監 事		380	大峠茂喜
			76	新田俊博

県連	会長	2	渡邊健治(兼)
	理事	7	千田勝則(兼)
	理事	204	村上明枝
	会計監事	19	中村美栄子

## 事務局から

### ☆ 会員動向 (4/14現在)

会員数 95 名 (男 51 名 / 女 44 名) 登山時報 46 部 家族会員…5 名 会友…6 名

**退会者** 10 江刺家誠 89 吉田良子 109 浦部光生 327 斎藤重雄 372 辰巳和司  
(10 名) 419 小泉岳央 452 大木由里 460 柚澤瑠実子 461 中村篤 481 谷原伸一  
(浦部光生 大木由里さんは会友になります)

**入会者** 483 工藤梢 484 内堀孝信 485 安藤文彦…3 名 (敬称略)

### ☆ 会費納入について

- ・前期会費の納入期限は4月です。
- ・遭対基金(新特別基金)について、口数の変更は、必ず会計担当の No, 140 石澤妙子に連絡してください。
- ・登山時報については、新規購読又は中止の場合は早めにお知らせください。

### ☆ 4月例会(本日)において会員名簿を回覧します。

- 名簿上の変更がありましたら**赤ペン**で修正してください。
- チェックした方は **✓** を記入してください。
- 全ての会員は、どこかの専門部に所属することになっています。  
各専門部の人数が平均的になるよう皆様のご協力をお願いします。

### ☆ 会員のメーリングリストを登録しました

会員への一斉メールで情報発信するときに活用してください。

### ☆ 登山教室が始まります。

友人・知人などの登山愛好者に声をかけ、たくさん参加してもらいましょう。

### ☆ 例会の司会と後片づけ

担当月	担当部	担当月	担当部	担当月	担当部
4月/10月	教育遭対部	5月/11月	山行企画部	6月/12月	会報部
7月/1月	組織部	8月/2月	事務局	9月/3月	自然保護部

本日の会場担当は 教育遭対部です

5月例会は5月23日(水) 18:45～

## 第 32 回 盛岡山友会定期総会議事録

日時 2018年4月4日(水) 18:45~20:10

1 開会

2 議長選出 工藤 敬子 (No.196)

3 総会役員選出 資格診査委員 太田代恵久子 (No.367).

選挙管理委員 佐々木 善男 (No.477)

議事録署名委員 北田 絹恵 (No.281)

書記 五嶋 十三 (No. 1)

高橋 陽子 (No.373)

4 会長あいさつ

5 資格審査委員報告

会員 103 名中 出席 33 名、委任状 36 名 計 69 名で過半数を超え総会成立

6 選挙管理委員報告

本総会にて 2018 年度役員・運営委員・会計監事を選出する。

7 議事

(1) 承認第 1 号 2017 年度活動報告・庶務報告

(2) 承認第 2 号 2017 年度収支決算書・会計監査報告

一括承認：特記なし

(3) 議案第 1 号 2018 年度活動方針 (案)

(4) 議案第 2 号 2018 年度活動計画 (案)

※2 か所を訂正

P21 ① (県連) 4/22→4/29、

② 2018/1→2019/1

一括承認：特記なし

(5) 議案第 3 号 2018 年度収支予算 (案)

承認

～質疑～

質問：経費節減のため、この総会資料も製本しないでコピーにしたら。

答弁：コピー、中綴じ、ホチキス止めをお願いしたが、ページ数が多いため、

製本にした方が経費が安くなるとの業者の提案で印刷製本にした。

来年からホチキス止め或いはホッチキス止めもしないで総会資料を作成してもいいかと考えている。

質問：印刷製本費を大幅に減らした分、何の経費を増やしたのか。

答弁：安全対策費、備品購入費や講習会等の旅費を増やした。また、12ヶ月間会報を郵送した会員から1,000円を負担して頂いたが、その事務が煩雑なことから印刷製本費を大幅に減らせることになったため今年度から取りやめることにしたのでその分通信費が増えた。

質問：事業費は何を目的にしているのか。

答弁：事業費は「会員の手引き」作成のため、また会山行等に予定している。

一括承認

(6) 議案第4号 役員等選出

当日立候補者なく、執行部が候補者を提案

承認：別表参照

8 2018年度スローガン

承認：特記なし

9 新旧役員挨拶

旧役員不在

新役員：松田希、新田俊博あいさつ

10 議長退任

11 閉会

議事録署名委員

北田 絹恵 

# 専門部報告

## ●山行管理委員会

### 2018年度 山行管理ルール／盛岡山友会

山行管理ルールについて、今年度は昨年の反省を踏まえて若干の修正を行いました。修正点は、計画書が提出されたときの返信を 24 時間経過後としていたものを、計画書の提出があったら速やかに受理した旨の返信をすることとし、指導・助言がある場合は 24 時間以内に連絡することとしたこと。また、山行管理委員が当番週に山行がある場合は、当該日を翌週以降の担当者と予め調整し交代することとしたことです。山行管理委員会の新メンバーによる当番割付表も更新しています。

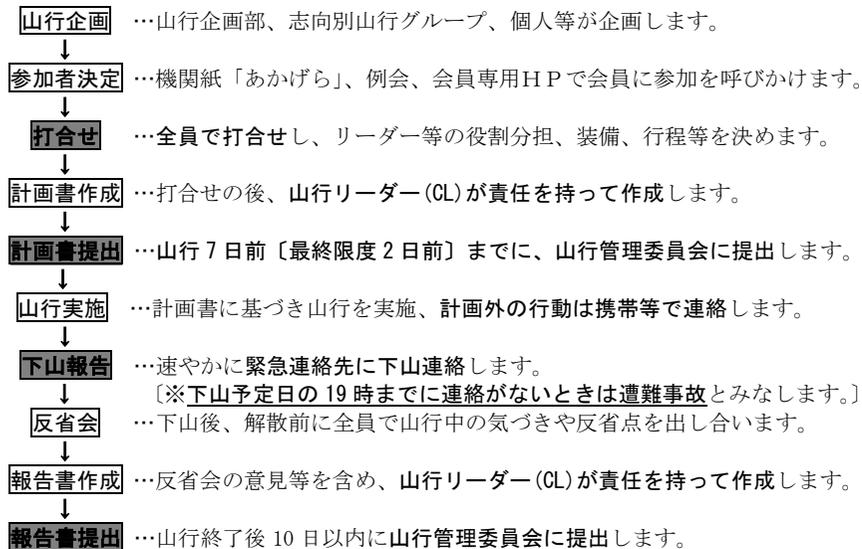
#### 1 山行管理の意義

山行管理の意義は、計画を山行管理委員会に提出しチェックしてもらうことで、未熟な計画による事故を未然に防ぐこと、万一事故が発生したときに迅速な救助活動ができることです。もちろん、新特別基金(遭対基金)の給付を受ける絶対条件でもあります。

また、山行報告書の提出は、山行記録としての価値に加え、事故やヒヤリハット等の経験を会全体で共有し、同じような過ちを犯さないようにするものです。

#### 2 山行管理の基本ルール

##### □企画から報告までの流れ



##### □山行打合せの留意点

- ① 打合せの最初に、ルート経験、山行技術、統率力等、参加メンバーの中で最もすぐれた者をチーフリーダー(CL)に選びます。(これはあくまで原則であり、リーダー育成の視点から未経験者を抜擢することもあります。)
- ② チーフリーダー(CL)は、山行打合せの中心になり、適宜質問するなどしてメンバーの登山経験や技術、健康状態や体調等の把握に努めます。
- ③ サブリーダー(SL)は、次期チーフリーダーを育成する視点から、山行経験等を踏まえながら特定の人に偏らないよう選定します。(CLが指導助言します。)
- ④ その他のメンバーは、チームワークで山行を創り上げていく視点から、必ず何らかの役割を担います。(その他のメンバーは、リーダーを支える役割を担います。)

### 3 山行計画書・報告書の作成ルール

#### □計画書作成の留意点

- ① 計画書の提出時は、様式左肩の「A山行計画書」のAを□又は○で囲み、1～2ページのみ記入し提出してください。(メールの場合は、3ページ空欄のまま可)
- ② 緊急連絡先は、山行管理委員の持回り当番者とします。当番は週替りとし割付は別途お知らせします。
- ③ 緊急時の対応等は、登山のリスク管理の重要性を理解し必ず記入してください。
- ④ ルート図は、概念図またはインターネットで取り込んだ地形図等に、登山口、ルート、幕营地、下山口等を明示してください。(省略せずに記載のこと。)
- ⑤ 会員外の参加者がいる場合は、氏名、年齢、連絡先のほか、チェック事項の欄で保険の有無や力量等の情報を可能な限り記載してください。(ツアー登山等で不特定の場合は除く。)

#### □報告書作成の留意点

- ① 報告書の提出時は、様式左肩の「B山行報告書」のBを□又は○で囲み、報告欄(3ページ目)に記入し、計画内容に変更があった場合は、計画欄(1～2ページ)に朱書きや見え消しで変更内容を書き加えるなどして提出してください。
- ② 山行管理委員会に届けた計画内容から、変更があった場合は「計画変更」欄に必ず記入します。(入山前の変更は、事前に必ず緊急連絡先と山行管理委員長に連絡してください。)
- ③ 「山行概要」欄は、計画との相違点、ルートの状況、メンバーの体調、事故やヒヤリハットの状況等、山行実施の内容をできるだけ客観的に記入します。(個人の紀行文ではありません。)
- ④ 「特記事項」欄は、事故やヒヤリハットの原因や反省点、今後の取組み方向など、会が共有すべき情報や次のステップアップにつながる内容を記入します。(この記述が報告書で最も重要であり、どんな小さなことでも記述してください。)  
また、日本シカの食痕などの目撃情報は、参考情報の選択肢「シカ情報」で記入してください。
- ⑤ 報告書の書き方は、客観的な視点で同じ山へ入る者にとって役立つ内容とすることがコツです。**(山行記録の観点からルート図は省略せずに必ず記載)**

### 4 個人山行の特別ルール

個人山行(会の中で公開募集しない山行)の場合は、会員個人の責任の下で、以下の特別ルールを適用します。

#### □個人山行の特別ルール

- ① 日常的なトレーニングは電話・メール等でもよい  
日常的なトレーニングで近場の低山に日帰りして登る場合は、計画書の提出に代えて電話、メール、ファックス等でも良いこととします。
- ② トレーニング等の報告書の省略  
個人山行であっても報告書は通常のルールで提出してください。ただし、トレーニング等で事故・ヒヤリハット等がない場合は報告書を省略できます。

### 5 計画書等の提出先と指導・助言

- ① 計画書・報告書の提出先は、メールの場合は以下の山行管理専用アドレスに提出します。

山行管理専用アドレス : morioka\_yamakan@freeml.com

- ② このアドレスに送付された計画書等は、山行管理委員の全員で共有し、必要に応じて委員会内で意見交換したのち、指導・助言が必要な場合は受付担当委員から連絡します。
- ③ 計画書の提出があったときは、受付担当委員から速やかに受理連絡を行います。なお、山行管理委員会で指導・助言が必要と判断した場合のみ、受理から24時間以内に受付担当委員から連絡します。
- ④ メールが使用できない場合は、手渡し、ファックス又は郵送で次頁の集中管理先(山行管理委員長)に提出します。提出された計画書は、PDF化して山行管理専用アドレスに転送し同様の処理を行います。

## 6 山行管理委員名簿

2017年度の山行管理委員は以下のとおりです。

### □山行管理委員名簿（2017年度）

記号	会員No.	氏名	携帯(SMS)	自宅	備考
A	002	渡邊健治	090-9634-2257	019-641-3905	会長兼山行管理委員長
B	234	古川 孝	090-8923-3120	019-619-1014	山行企画部副部長
C	382	三浦明夫	090-1069-2333	019-692-5899	副会長兼遭難救助隊長
D	416	福山茂和	090-7063-0788	019-697-4168	組織部長
E	433	岡 義博	080-6542-8871	019-613-3623	自然保護部長
F	455	大倉 博	080-4524-5310	019-647-2455	自然保護部副部長
G	385	小田嘉洋	090-8781-8137	019-662-3535	事務局次長
H	279	松田幸久	090-1374-2367	019-663-5383	教育遭対部副部長

## 7 受付担当者

山行管理委員は、下表の受付当番割付表のとおり受付担当を週単位で持ち回ります。

受付の担当者は、緊急連絡先を担うとともに、山行管理専用アドレスに送付された計画書・報告書の指導・助言の窓口となります。

なお、受付担当者が当番週に山行がある場合は、次週以降の担当委員と日程を交代するなど、山行が決まった時点で予め調整し、あかげらや会員専用ホームページ【お知らせブログ】等で周知します。

### □受付当番割付表（2018年度）

週	当番	週	当番	週	当番	週	当番	週	当番	週	当番
4月①	三浦	6月①	福山	8月①	岡	10月①	岡	12月①	大倉	2月①	小田
4月②	福山	6月②	岡	8月②	大倉	10月②	大倉	12月②	小田	2月②	松田
4月③	岡	6月③	大倉	8月③	小田	10月③	小田	12月③	松田	2月③	渡邊
4月④	大倉	6月④	小田	8月④	松田	10月④	松田	12月④	渡邊	2月④	古川
4月⑤	小田	7月①	松田	9月①	渡邊	10月⑤	渡邊	12月⑤	古川	3月①	三浦
5月①	松田	7月②	渡邊	9月②	古川	11月①	古川	1月①	三浦	3月②	福山
5月②	渡邊	7月③	古川	9月③	三浦	11月②	三浦	1月②	福山	3月③	岡
5月③	古川	7月④	三浦	9月④	福山	11月③	福山	1月③	岡	3月④	大倉
5月④	三浦	7月⑤	福山			11月④	岡	1月④	大倉		

(注1) 4月①とは、4月の第1週（月曜日始まり）を表します。

(注2) 当番のA～Hは、山行管理委員名簿の頭記号に対応しています。

≪集中管理先≫ 山行管理委員長（渡邊）  
 ファックス：自宅 019-641-3905 (Fax 兼)  
 郵送の場合：〒020-0135 盛岡市大新町 20-61 渡邊健治  
 携帯電話：090-9634-2257 (SMS、LINE も可)  
 メール：パソコン→wataken0806@biglobe.jp  
 携帯電話→wata-ken1210\_mat@ezweb.ne.jp

## ● 教育遭対部

### ・ピッケル・アイゼン、滑落停止訓練

日 時 : 5月13日(日) 雨天の場合中止  
場 所 : 八幡平、見返り峠付近  
申し込み : 279 松田幸久  
締め切り : 5月6日(日)  
集合場所、時間 御在所温泉Pに8:30集合  
持ち物 ピッケル、アイゼン、冬山日帰り装備、昼食

### ・登山靴での岩登り訓練

日 時 : 5月20日(日) 雨天の場合中止  
場 所 : 川目の岩場  
申し込み : 378 高橋英里子 携帯SMSまたはメールで  
締め切り : 5月13日(日)  
集合場所、時間 川目小学校先右側Pに8:00  
持ち物 ヘルメット、ハーネス、登山靴、カラビナ、スリング、昼食

### ・登山の計画から実行まで(座学) 【座学のみ参加OK】

自分の登りたい山の計画を立てられるようになりましょう  
計画の立て方、打合せ、計画書の作成などの講習を行います  
日 時 : 6月17日(日)  
場 所 : 杜陵老人福祉センター  
申し込み : 454 小原耕  
締め切り : 6月10日(日)  
持ち物 日帰り装備、昼食

### ・登山の計画から実行まで(実技) 【実技講習のみ参加は不可】

座学で行った計画の実技山行を行います  
日 時 : 7月7日(土)  
場 所 : 馬返し～鞍掛山～相の沢  
申し込み : 454 小原耕  
締め切り : 6月10日(日)  
打合わせ : 6月17日の講習会で

・ツェルトで1泊キャンプ（ビバーク訓練）

普段の山行で使う機会のないツェルトの張り方、そして1泊をしてみます  
固形燃料の使い方、非常食を食べてみるなども体験しましょう

日 時 : 7月7日(土) 夕方~8日(日) 午前中

場 所 : 相の沢キャンプ場

申し込み : 454 小原耕

締め切り : 7月1日(日)

集合場所、時間 相の沢キャンプ場、夕方集合

## 志向別グループからの お知らせ

### ◆ 岩手の名山歩こうかい

今後の計画 2018年

日程	山城	メモ	担当
5月27日(日)	中岳	秋田県境	千田
6月3日(日)	青松葉山	かまつたコース	本間
7月28日29日(土日)	とど山・根滝山	宮古重茂半島	本間
8月5日(日)	早池峰山	剣が峰コース	小田
9月30日(日)	三ツ石山	松川温泉周回	石澤
10月14日(日)	乳頭山	滝ノ上コース	北田

次の会議は9月6日(木) 勤福 18時30分 熊谷

### ◆ 四季の山

今後の計画 2018年

日程	山城	メモ	担当
5月20日(日)	東根山	周回コース	中村美
6月17日(日)	岩手山	網張コース	熊谷
7月21日22日(土日)	岩手山	焼け走り~上坊	工藤
8月19日(日)	岩手山	七滝コース	遠藤
9月23日(日)	岩手山	松川コース	級木
10月7日(日)	岩手山	御神坂コース	加藤

次の会議は9月6日(木) 勤福 18時30分 日比野

### ◆ グループ銀世界

納会のお知らせ

日時: 6月7日(木) 19:00~

場所・会費: 未定(後にHPのグループ銀世界の掲示板でお知らせします)

受付: 久保 (締め切り 5月23日)

# 行ってきました!

[3月19日～4月15日現在]

No.	月日	山域	ルート	目的	参加者名	会員	分類
1	3月20日	黒森山 (837.3m)	深沢口～山頂～峠口	下見山行	L岡(義)・S太田代・高橋(恵)	3	個人
2	3月21日	毛無森	砂子沢～長野峠～笠森山～毛無森往復	積雪期に盛岡市最高峰に登る	L古川・S舟越・村田	3	会
3	3月21日	網張温泉ビジターセンター周辺		雪洞訓練	松田(希)・工藤(敬)・高橋(英)・岡(義)・佐々木(善)・山口・加藤(桂)・熊谷(久)・渡邊(健) 〔スタッフ〕松田(幸)・三浦(明)・小原(耕)・中村(敦)	13	会
4	3月23日	雲取山	鴨沢～山頂往復	雲取山に登る	L山田(潔)	1	個人
5	3月24日	三ツ森山(北峰・中央峰・南峰)	焼走り国際交流村～北峰～中央峰～南峰	里山に登る	L工藤(敬)・S本間(典)・中村(美)・日比野	4	会
6	3月26日～3月27日	真風岳 (1,059.9m)	中川原～峰越口～山頂往復	展望鑑賞	L辰巳	1	個人
7	3月27日	黒森山 (837.3m)	深沢コース～頂上～峠コース	一等三角点の眺望を楽しみましょう!	L岡(義)・S太田代・川村(雅)・高橋(恵)・吉田(成)・佐々木(善)	6	会
8	3月31日	鎌倉森・犬倉山	網張ビジターセンター～山頂往復	春山トレーニング	L高橋(英)	1	個人
9	3月31日	御月山	安比GC～山頂往復	残雪期限定の里山に登る	L小田(嘉)・S加藤(桂)・工藤(敬)・小田(春)	4	個人
10	3月31日	金ヶ崎駒ヶ岳・経塚山	夏油大橋～金ヶ崎駒ヶ岳～経塚山往復	未踏のルートを歩く	L山田(潔)・S舟越・大峠・渡部(彩)	4	会
11	4月1日	東稲山・経塚山・国見山	東稲山～経塚山、極楽寺P～国見山～珊瑚岳～極楽寺P	トレーニング	L岡(義)・S太田代・高橋(恵)	3	個人
12	4月1日	姫神山	一本杉コース	トレーニング	L石原	1	個人
13	4月2日	御月山	安比GC～山頂往復	冬限定の里山に登る	L本間(典)	1	個人
14	4月6日	貝吹岳 (992.4m)	仙岩トンネル口～山頂往復	トレーニング	L岡(義)・S太田代・高橋(恵)	3	個人
15	4月8日	万寿山 (410m)、六郎山(510m)	台温泉～右回り～万寿山、台温泉～六郎山往復	里山で春一番の花を見る	L熊谷(久)・S日比野k・千田(勝)・遠藤(千)・石澤・加藤(桂)・高橋(陽)・竹田(真)・亀田(英)・亀田(金)	10	会
16	4月10日	万寿山 (410.1m)	台温泉周回コース(右回り)	春を告げる長寿&万寿の山に登る。	L岡(義)・S吉田(成)・工藤(敬)・高橋(恵)・太田代・小川(優)・亀田(金)・佐々木(善)	8	志向別G
17	4月10日	青松葉山	松草峠～山頂往復	トレーニング	L福山〔会員外〕1名	1	個人
18	4月12日～4月13日	焼石岳・新湯温泉 上東山から南方向	天江～桑原岳往復(13km)	秋田県との県境を歩く	L小田(嘉)・S本間(典)・大倉〔会員外〕1名	3	志向別G
19	4月13日	貝吹岳 (992.4m)	仙岩トンネル口～山頂往復	トレーニング	L岡(義)・S太田代・高橋(恵)	3	個人
20	4月14日	焼石岳	第2ゲート～銀明水小屋～山頂往復	焼石岳のロングコースを滑る	L大峠・S山田(潔)・村田・松田(幸)・松田(希)・小原(耕)	6	志向別G
21	4月15日	硯神山	雄勝口～山頂往復	東北百名山	L千田(勝)・S府金(志)・中村(美)・工藤(敬)	4	会

注：これは、あくまで速報的なものですので、掲載もれや誤り等がある場合はご容赦ください。

# 山行報告



## 憧れの岩手山へ

No.301 久保加世子

日時：2018年3月17日（土）～20日（日）

天候：17日快晴 18日晴れのち曇り

メンバー：CL古川、SL山田潔、村田、小原、舟越、久保

行程：

17日 網張リフト終点 9:15～黒倉分岐 10:55～切通し 11:40～お花畑 12:25/13:10  
～不動平 14:45/15:00～山頂 15:45/16:00～お花畑（泊） 17:30

18日 起床 5:30～出発 7:30～切通し 8:20～黒倉分岐 8:55～リフト終点 10:45 ～  
網張スキーセンター 11:15

お花畑でテント泊をしてスキーで岩手山に行ってみたいと思っていたが、去年は直前に腰を痛め断念。今年こそ！と、期待と不安で出発の時を迎えた。

お天気は二日間とも良い予報で、特に 17 日は快晴である。網張スキー場に集まって共同装備を分け、準備をして出発である。まさにワクワクとドキドキが入り混じっていた。

しかし、お天気は良いのだが、斜面の状況はちょっと酷い。数日前の暖かさと雨で、アイスバーン状態となっている。特に姥倉の斜面は長いトラバース。落ちたら・・・と思うと、体力的というよりも精神的にキツイ。やっとの思いで黒倉の分岐を過ぎると前方には岩手山と鬼ヶ城の素晴らしい景色が広がっていた。

ここで一息。その後は切通からの下りである。

3人はスキーのまま（シール付き）、3人はスキーを背負ってツボ足で下った。もちろん、わたしは迷うことなくスキーを背負った。幸いなことに斜面は思っていたよりも硬くはなく、ツボ足でも問題なく下りことができた。



お花畑に良さそうなテント場を見つけ、テントを二つ設営した。今のテントは設営も簡単である。宿泊用の装備などをテントにデポしザックを軽くして、岩手山山頂を

目指した。ザックは軽くなったが、それまでの疲労と不動平までの急登でなかなか進まない。斜面もさらに硬くなってきた。

何とか九合目の不動平に到着。ここでスキーをデポすることにし、スキー靴にはアイゼンをつけた。思っていたよりも雪は少ない。とはいっても、疲労感いっぱいでも心が折れそうになる。「お天気も良いし、登るなら今しかない！ 今日登らなかったら次はいつになるかわからない」と自分を奮い立たせ、一步一步進んだ。

予定よりもかなり遅くなったが、無事に岩手山山頂に到着。青空に 360 度の眺望が出迎えてくれた。時間も遅いことから記念写真を撮って早々に下山する。不動平からはスキーをはいたが、アイスバーンのためシールはつけたまま、滑るというより降りるという感じでテント場に戻った。

テント場では暮れゆく鬼が城の景色を堪能し、これまた念願であった満点の星空を楽しみながらの夕食であった。

次の日は、切通しの登りが核心部であった。全員ザックにスキーをつけ、ツボ足で登った。泊まりの荷物にスキーは背負うだけでも大変であった。後ろに転ばないように、また、滑落しないように足を蹴り込み、慎重に登った。

姥倉の斜面のトラバースを避け樹林帯を進んでいると、この日網張から松川へ山行を企画していた銀世界の他メンバーと偶然にも出会い、疲れていた気持ちに元気が出た。犬倉もトラバースを避けて進み、無事に網張スキー場上部についた。ここで、やっとシールを外し、スキー滑走！！ しかし、パンパンになった脚では転ばないようにと滑るだけで精一杯で、滑りを楽しむことはできなかった。

今回の銀世界の岩手山山行は 10 年ぶりとか。。。なんとも久しぶりの計画であった。わたしも憧れのスキーでの岩手山を実現でき、疲労感も凄かったがそれ以上の達成感であった。メンバーの皆さまにはいろいろと引っ張ってもらい感謝いっぱいである。





## 秋田県境を歩く(県境区間 1.8 km)

No.385 小田嘉洋

日程 : 2018年3月17-18日(16日前泊)

天候 : 曇り後晴れ/晴れ

メンバー : CL辰巳 SL中村、加藤、小田(春)、本間、大倉、高橋、小田

コースタイム:前泊地 6:00 → 尾根取付 6:50 → P610 8:25 → P831 11:50 →

昼食 13:20-40 → 前回到達点 14:30 → 目的地 P877 15:40 → 幕営地 16:00

翌日 幕営地 8:00 → 尾根取付(下山口) 13:05 →前泊地 13:25

このコースは昨年、沢の南側からトライしたが県境までには至らず、別コースを何回かに分け踏破区間を延ばしてきた。今回、8回目の挑戦となる難コースである。

今までは2日間(1泊2日)の予定で進めてきたが、今回は行動時間に余裕を持つため、登山口に前泊を計画した。仕事の終了者を待って東成瀬村のビューポイント栗駒に移動。ここに仮宿泊することにした。場所は8人用テント2張りほどの大きい展望室だが、ストーブもあり、洗面所も一部使用可能で快適だ。

ー8度、小雪の中、登山口となる取付に移動する。新雪は3~4センチほど積もっているが、天気は回復の方向なのであまり心配はない。全員輪カンをつけ出発する。すぐに急登になりアイゼン・ピッケルに替え、喘ぎながら灌木につかまりP610に着到着する。3時間の予定の所を1時間で登ったことになる。メンバーの中には15年夏、中岳の下山遅れの話をしている者もいる。そう、あの時も最初の登りは早すぎた。気にしないふりをして進むことにする。コースは雪崩を避け尾根を歩くため、雪庇の狭い所をも行くことになり、気を抜くことができない。緊張はするが、ピッケル・アイゼン・ザイル、それはそれで楽しい。



標高7~800mから上は霧氷により木々は真っ白になっている。対面の沢や傾斜地は雪崩の跡が多い。こちらの尾根も雪庇が張り出し雪はやわらかく、深い割れ目が出て注意を要する。P810付近にさしかかると谷側の雪庇上を進むことは危険なため、反対側へ40m程ザイルを出し女性陣が降り、鞍部で一息つく。前を進む男性陣は次の崩落部分にザイルを渡している。鞍部で待っているメンバーは「退却もありだよ」と話している。進退についての意見は半々だが、ザイルも張り終わっているのでここだけ注意して進むことにする。3~4ヶ所の危険箇所を通過するのに1時間半かかった。全員通過後、雪庇のない比較的平らな所で



昼食をとる。

昼食後出発すると程なく両側が切れている所に出た。一本橋を渡るようにストックをつけて注意して歩く。それ以外は雪庇もなく雪と霧氷の回廊を進む。

みんなホッとしてようやく気持ちにゆとりも出てきた。

昨年の夏に幕営し、翌日往復 2 時間ほどかけた尾根の到達点に 15 分程で到着。ようやく目標の県境に上がった。後は 1.8 km だけだ。心も軽く 20 メートルほど進むと CL に「逆の方向ではないか」と注意される。やはり各ポイントで方向を確認しなくてはいけない。目的の P877 は谷を右に巻いてすぐだ。今の時期は木の葉もないので見晴らしも良い。一昨年 P877 まで下ってきた下東山の尾根も雄大に見える。

目的地手前の幕営予定地に着いたが、風が無く天気も崩れそうにないので後 1 km 程度進まない手はない。今日目標を達成すれば明日は本当に楽なはず。みな気持ちよく賛成し進む。

「ここだ、ここだ」と SL が叫ぶ。

2 年前藪に阻まれ宿題に残し、それから 8 回も通った P877 に到着。皆の顔もほころびっぱなしだ。自然に「ばんざい！ ばんざい！」の声が上がる。

それにしても周囲の景色の素晴らしいこと。下東山の白い急斜面を見ながら今回不参加の K さんに是非見せてあげたいと思ったものだ。

幕営地（平坦地）を探す足取りは軽かった。が、夕方になり寒さも厳しくなってきた。SL のリードで声をかけながらテントを張る。ようやく夕食のコンロを囲んだのは太陽も沈むころだった。私がビールを忘れてきたため、N さんの 500ml のビールを分け合い乾杯する。夜中に見た星空も私たちを祝っているようだった。

翌日は朝焼けで起床し下山へ。それぞれアイゼンとストックあるいはピッケルで下山するが、昨日のナイフリッジや危険箇所も問題なく通過する。尾根から見渡すと対面の急壁面は全て雪が落ち、土が顔を出している。もちろん周りの霧氷も落ち、前日気づかなかった鳥海山も雄大にそびえている。

最後の急登手前で小休止、灌木につかまりながら声を掛け合い取付地点に戻った。





## 盛岡市最高峰の毛無森に登る

日時：2018年3月21日 天候：曇り

メンバー：CL 古川、SL 舟越、村田(記)

行程：南大橋 6:25 ～砂子沢除雪最終地 6:50/7:10 ～笠森山 9:15 ～P993 10:15 ～P1095 11:00 ～毛無森 12:20/12:30 ～P1260m(昼食) 12:45/13:10 ～P1066 13:40 ～笠森山 14:25 ～舗装道路 15:20 ～砂子沢除雪最終地 16:00

盛岡市最高峰の毛無森に挑戦した。砂子沢から毛無森への山行記録はほとんどなく、冬季の記録は無かった。多くが、残雪期に鶏頭山を經由するコースである。残雪期での砂子沢ルートは初めての記録となるかもしれない。向かう車中、雪解けが早く雪が心配だという話をしていた。スキーを履いて林道をスタートするが、やはり、雪が切れてしまう箇所が多発。幾度か履き直しを余儀なくさせられた。スタートからしばらくはツボ足とスノーモービルと思われるトレースがあったが、いつの間にか消えていた。途中、林道が大きく崩落している箇所があった。今年の豪雨の時は不明。ようやく、雪が多くなったと感じる頃、熊のものと思われる足跡もあった。

林道の雪が無くなるリスクもあり、ショートカットのポイントを探しながら進む。ピンクテープが何か所か出始めたが、そこから少し先のポイントから林道はずれた。藪の中だが、それほどうるさくは無く支障はない。



笠森山が近くなった頃、毛無森が鶏頭山と共に見えた。まだかなり遠い印象だったが、モチベーションは上がった。それからは少しピッチが上がり、美しいブナ林の中を軽快に進んだ。雪はツボ足でもズボらず、アイスバーンでもなく、登坂するには良い固さ。穏やかではあるが、アップダウンある尾根沿いにシールを付けたまま進んだ。ずっと美しいブナ林が続き、秋には紅葉が良さそうだ。

ようやく、毛無森のすそ野に到着。30度ほどの斜面を登る。なんとかシールが利き

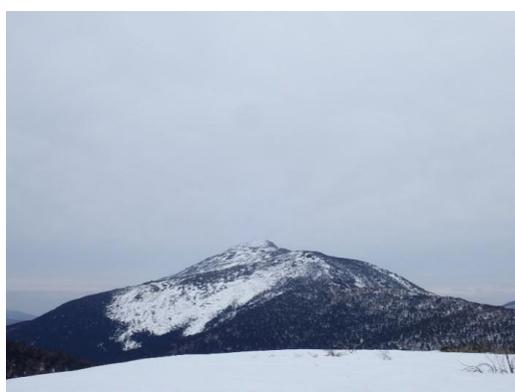
登れたが、頂上まで標高差 200m くらいから斜度が一段と上がり雪面もかなり固くなった。他の 2 人はまだスキーで登ったが、この地点でスキーをデポ、ツボ足でキックステップで登る。しばらくいくと、かなり急なコブになり皆スキーをデポした。このコブは、巻いた方が楽であった。



このコブ以降、さらに急斜面となった。キックステップでなんとか登りきった。頂上はかなり平らで広く、早池峰山がドーンと見えた。この角度から眺める早池峰山は初めてのため、全く別の山を見ている感じであった。鶏頭山もぐっと近くなり、頂上付近に数名の登山者が確認できた。

風もなく穏やかな頂上であったが、急斜面の下りが気になるので、昼食は頂上ではなくスキーデポ地まで下る事とした。下りの方が大変かと思ったが、スキー靴のかかどでしっかりと雪面を捉える事ができて、少々杞憂だった。デポ地で大休止し、シールをはずした。ほどほどに間隔のあるブナ林で藪も薄く良い斜面だったが、雪面はかなり固くエッジを鳴らして鞍部まで降りた。

そこから再び最終地点までシールを付けて降りた。概ね下りではあるが、やはりアップダウンしながら、笠森山を巻いて、林道跡まで到達。今度は早めにショートカットした。林道の最後の 1.5km は、スキーをかついで降りた。全長 21km であったが、雪が少なくシールを外し滑れたのは 1km 程で、体力づくりを兼ねた歩くスキー山行であった。展望もあまりなかったが、人の気配が無い静かなブナ林をじっくり味わえたコースだった。



## ～2018年3月21日（水）雪洞訓練に参加して～

網張ビジターセンター駐車場の雪捨て場の斜面で、アイゼンを付けて垂直に登り降りする訓練での注意点は、登りはハの足位置で歩き、下山の急勾配は後ろ向きで下りて、緩やかな斜面は逆ハで登りと下りの実践を行い、トラバースを歩く時は、登りと下りの時山側、谷川の足の方向を注意して歩く。

又方向転換はピッケルの位置と足位置が大事な事もわかりました。

雪洞作りも、それぞれの班で工夫されて作られていて、とても参考になりました。

シート搬送は最初は模範を参考に実施したのですが、カラビナとロープの結びに時間がかかりもっとスピーディーに実践できる様、訓練が必要だと実感しました。

次回も時間があれば参加したいと思います。

スタッフの皆さん色々と有難うございました。

433 岡 義博



“自然にまかせよ、でいいのか？”

一月の朝の6時ごろはまだ薄暗い。明るくなりかけた空を、豆粒のような点が現れ、その黒い点が見る間に大きくなって、カラスとなる。このカラス群れの移動を毎朝見るのがおもしろくて、起きると北の空に面した窓から外を眺める。それでどうしたといわれると困ってしまう。なんのためにもならない習慣なのだ。つつい窓の外を眺めてしまう。われながらあきれてしまう。

住んでいるところがカラスの寝床の近くにある。北山や盛岡グランドホテル裏の愛宕山は家の北西側にある。ここはカラス集団のたまり場だ。ひとむかし前は、電線にカラスがずらりと並んで、道路がカラスの糞で公害騒ぎを起こした。いまも北山や愛宕山は相変わらずカラスのたまり場である。そこから毎日カラスが南に飛び立っていた。なぜ南に向かうのかはカラスに聞かないと分からない。こちらは、ただ変だなと思うだけ。いまだに分からない。

孟浩然  
春眠不觉晓  
处处闻啼鸟  
夜来风雨声  
花落知多少



Wikipedia より

春眠(しゅんみん) 曉(あかつき)を覚えず (孟浩然)

分からないから、毎日見ても飽きないのかもしれない。

さてそのカラスの南下が、3月すぎるところから突然見られなくなった。3月になると、6時頃はもう空は明るくなっている。空が明るいから、カラスの姿がよく見えるはずなのに、見つからない。日の出と共に、カラスの起床時刻が早くなったのだろうか。5時ごろはもう空も明るくなっているが、「春眠(しゅんみん) 曉(あかつき)を覚えず」

とばかり、以前と同じ6時ごろまで寝ている。日の出に合わせるなら、自分のからだも自然に目覚めてもいいはずだ。いや、春になったばかりだから、冬のからだはまだ目覚めていない。ゆっくり起きるべしというのがからだからの指令なのかと自分に言い訳をする。暗くなれば寝て、日の出と共に起きる。これが昔ながらの生活のはずだ。

日本人は農耕民族だ。生命維持のための農作業は日の出とともに始まる。そのように遺伝子が組み立てられ、子孫へ伝へられてきた。ところが、現代では農耕の田舎生活よりも、商工業の都会生活へと様変わりしている。昔風の生活リズムが自然だとすれば、現代の生活リズムは不自然となる。でも環境に合ったときの生活リズムこそ自然と言えるのではないか。都会の自然と農耕の自然とは、違ったものになるのではないか。生活する社会環境とぎくしゃくした関係になれば、それは不自然ではないか。

カラスの習性は自然の法則に従っているはずだ。おそらく日の出が早まると、遺伝子が働き、日の出の動きに合わせて行動を仕向けるのだろう。現代は電気、水道、ガスなど文明の利器のおかげで、人間は昔に比べてはるかに快適な生活を送っている。自然災害の脅威におびえて暮らしていた、はるか昔の時代と違って、自然界を支配し、自然界に逆らうという、ある意味<不自然>な生活をしている。ときどき、地震、津波で自然界からのしっぺ返しを食らうが。

文明が進むほど人間は自然から離れる。先進国と自称する、文明国のヨーロッパの人々は、自然を征服し、自然を自在に切り貼りしてきた。文明の遅れた地域の人々は自然と融和し、自然と対立しない文化（生活習慣）を身に着けた。昔のアジアや、日本の文化には自然を畏れ敬う感覚があった。ところが、先進国と自称したヨーロッパ諸国の生活習慣こそ人間の未来を明るくすると思われた。明治以来の日本人もそう思い込んだ。そのヨーロッパで



1931年映画版のフランケンシュタインの怪物  
wikipedia より

も、文明社会のもたらす反自然性がほんらいの人間性を破壊する。だから「自然に帰れ」とルソーが言った（ことになっているが、そういう文は残されていない）。社会が文明化するほど、身分、人種、貧富の差がひどくなり、人間に与えられた本来の平等性が失われるという警告を鳴らしたのがルソーだった。文明は人を怪物にしてしまうと警鐘を鳴らしたルソーは18世紀の人だった。19世紀になるとフランケンシュタイン\*<sup>1</sup>という名の（小説上の）怪物が登場した。死者の臓器を組み合わせ、電気（がない時代だったので）に相当する雷による電気ショックによって生き返らせた、まさに科学の生み出した人造人間だ。どんな自然条件のもとでも生き延びる力があり、怪力無双の彼にも、唯一の弱点があった。それは、つぎはぎだらけの容貌が人間社会では恐怖の対象にしかならなかったことだ。人間の友を求めても、彼の姿を一目するだけで、人間は逃げ出した。友情や愛情を求めても、どこにも相手はいない。身体は怪物でも心は人間だったにもかかわらず……。他者との心のふれあいを断たれた彼の取る道は、科学によって復活した生命体を北極の冷たい海に投棄し、元の死体に戻ることであった。怪物の姿をしていても、絶望を感じとるところを持つ人間であった。

人間であるかないかの境界線はどこにあるのだろう。動物でさえ、親子、仲間の群れがあり、助け合う姿が見られる。ことばの数が少ないにもかかわらず、仲間同士の以心伝心の姿があるように見える。ましてや、人間なら、動物たちよりもはるかに心を伝えるすべを備えている。他者をいたわり、いたわりを感じるところを持たない人間などいない。怪物として恐れられたあのフランケンシュタインすら、こころは人間だった。人間だからこそ絶望という感情を持っていたのだ。

現代人は、人としての容貌風采と、言葉、身振りの交流によって人間社会の一員となって

いる。他人の苦しむ姿は、自分の痛みでもあるのが人間なのだ。「汝殺すなかれ」ということばは人間の証明でもある。ところが、姿かたちは人間なのに、こころのないヒト、良心のないヒトがいるのだ。あの『羊たちの沈黙』のハンニバル・レクターのように。\*<sup>1</sup>姿かたちは立派な紳士で、知性にあふれ、人をだますこと、殺すこと、殺した人の肉を平然として食べる、という映画の登場人物。このような架空の人物でなく、歴史上の人物、ヒトラーやスターリンを思い出してもよい。彼らがいかに冷酷非情であったかを。脳には喜怒哀楽に反応する部位がある。ところが、他者の喜怒哀楽に共感する神経反応が遺伝的に欠如しているヒト（怪物）たちがいる。それがヒトラーたち、などなのだ。医学的にはサイコパス\*<sup>2</sup>といわれるそうだ。なぜこんな欠陥品が組み込まれてしまうのか。いや、じつは不良品どころか、生存競争に打ち勝つための遺伝子操作なのだという。助け合って種の保存を図る群れと、他人の犠牲の上に生存しようとする二つの群れが人種として残る。どちらも人類生存のために、長い間に組み込まれた遺伝子という自然が生み出したものだ。こころに反応する人たちと、無反応なヒトたち。人間はどちらかの遺伝子が組み込まれている。性善説、性悪説が生まれるのもこの遺伝子に結びつく。

とはいえ、こころの痛みを感じないヒトも人間なのだと思うことのできるものではない。カラスは持って生まれた遺伝子に従って自然に生きている。どのカラスもカラスになる。しかし人間の姿を持ってさえすれば、どの人も人間だとは言い切れるだろうか。喜怒哀楽を感じないヒトは人間といえないだろう。人間は自然の法則に任せておけない唯一の動物なのかもしれない。

\*<sup>1</sup>メアリー シェリー『フランケンシュタイン』（新潮文庫）

\*<sup>2</sup>（英: Hannibal Lecter）は、『羊たちの沈黙』等、作家トマス・ハリスの複数の作品に登場する架空の人物

\*<sup>3</sup>中野 信子『サイコパス』（文春新書）

# 交流の広場

## 読んで味わう山の楽しみ

ヤマケイ新書の山の名作読み歩き（大森久雄 編）を紹介したいと思います。この本は、江戸時代の山岳紀行から現代の名エッセーや詩歌まで、山にまつわる名文 53 編を収録していますが、「はじめに」と「おわりに」の内容を紹介します。

### 「はじめに」

山登りと文章とは仲がいい。この二つには相関関係があって、いわばコインの表と裏です。どちらも表になったり裏になったり、とても相性がいい。山に登るのは楽しい行為です。その結果から生まれる文章もまた、読むのが楽しい。そしてその文章を読んでいると、当然のように山が思い出され、また山に還りたくなります。わたしたち山（もちろん山登りのことですが）の好きな者は、山と文章との双方をこのように行ったり来たりして楽しめるのだから、幸せです。先人たちはとても豊かな世界を書き残してくれました。その人たちが味わい深い山登りをした結果です。その山登りは文章（文芸と言ってもいいのですが）だけではなく、実際には写真、絵画、彫刻、音楽などさまざまな分野に広がっていて、そのどれにも山と接する喜びがあふれています。そういう豊かな世界から、本書では文章を対象としました。そこには、紀行、記録、エッセー、また詩や俳句、短歌な

ど、色とりどりの作品が選ぶのに困るほどあります。どの作者も、うらやましいほど山と仲良く、親しみのある接触をしています。そこにはどんな世界が広がっているのか。歩き始めてみませんか。

### 「おわりに」

はじめにで書きましたように、先人たちの書き残してくれた豊かな世界からいろいろなタイプの作品を選んでみました。「名作」の概念からすると当て嵌まらないものが多く、いままでのこの種のアンソロジーとはかなり趣を変えてあります。山の文章世界は幅が広く奥が深いのですから、固まった既成概念で選ぶのではなく、もっと自由に羽ばたいてみたい。そうすれば、いままでと違う、のびやかな世界が見られるのではないか。山登りが単なる肉体運動ではなく一種の精神活動を伴う行為である以上、そこから生まれるこころの世界を味わえるもの。そこに選択の基準を置きました。以下 略

このような内容の本なのですが、「はじめに」に書かれているように山登りと文章がコインの表裏のようにとても相性がいいという表現が私は気に入っています。山友会の山行記録やエッセー等も読んで味わう山の楽しみの一つですね。（菊池）





■□ 表紙の言葉 □■

— 「春を待つ」 —

厳しい冬を堪え忍び、梅や桜が一斉に花開き、花の香りを、  
山菜の芽吹きを風を感じる春が来ます。

春は生命の息吹きが感じられ、希望が湧いてくる季節です。

満開の桜は、心をうきうきさせてくれます。

春ほど待ちわびる季節はありません。

No.196 工藤敬子

あかげら 第353号

2018年4月25日

発行者 盛岡山友会 会長 渡邊健治

編集責任者 盛岡山友会 会報部長 渡部彩子

印刷／製本 (有)小松茂印刷所

盛岡市大沢川原2-5-37

019-623-6073

盛岡山友会のホームページ

[http://www.geocities.jp/morioka\\_sanyukai/](http://www.geocities.jp/morioka_sanyukai/)

～里山からヒマラヤまで安く、楽しく、安全に！～